

# 建学の精神

## 『協同』

本学の建学の精神は「協同」である。これは、昭和7年に本学園を創設された初代理事長行岡忠雄博士による「医療は多くの医療技術者との多職種連携により、初めて成り立つものである。」との考えに基づくものである。現代ではこれは「チーム医療」として置き換えられているが、全ての医療に携わる者が基本とする概念である。

## 教育理念

医療技術者を目指す学生に対し、幅広い専門知識や技術の修得を通して、適応力豊かな医療人を育成すること。

## 教育目標

- 1 将来、理学療法士として世界に通用するリーダーの育成。
- 2 他の学生との協調を図り、互いに意見を尊重する姿勢の養成。
- 3 他者とのコミュニケーション能力の向上。

# 3つのポリシー

## アドミッションポリシー(入学者受け入れ方針)

- ①人に対する関心や思いやりがある人。
- ②入学後に学ぶ学問領域に興味を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢・態度を有している人。
- ③学生として学業に誠実に取り組もうとする人。
- ④理学療法士をめざす動機や志望意欲を持った人。
- ⑤自己および他者の心身の健康に気を配れる人。
- ⑥自身の長所を活かすことができる個性豊かな人

## カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方法)

本学では、ディプロマポリシー(学位授与の方針)に基づき、現代社会の問題に立ち向かい地域医療の発展に貢献できる社会人として必要な知識・技能を修得するため「教養教育科目」「専門基礎科目」「専門科目」の科目群から、次のような方針に従い教育課程を編成し、実施する。

- ①「教養教育科目」では適応力豊かな人材育成のため、コミュニケーション能力や社会情勢など、幅広い教養の修得を目的とした科目を置く。
- ②「専門教育科目」では、医療人としての基礎能力の修得から理学療法士としての臨床能力の修得へと、段階的につながる科目を置く。
- ③「専門科目」では、確かな知識と技術を身につけ、向学心や探究心を高めるため、演習や実習などの医療現場にも役立つ実践的かつ能動的な学習形態の科目を置く。

## ディプロマポリシー(学位授与の方針)

教育理念・教育目標を達成すべく、以下のような能力を身につけ学士(理学療法学)の学位を授与するものとする。

### 1. 社会の理解とコミュニケーション能力

- ①めまぐるしく変化する現代社会や疾病構造の変化への理解に努め、理学療法士としての柔軟な対応を思考できる力。
- ②対象者・家族はもとより協同する多職種の間を含めて、性別や年齢、障害の程度、文化などを鑑みて円滑な人間関係を構築する基本能力と協調する力。

### 2. 高い専門知識と技術力

- ①基本的理学療法を実践するために、人体の構造や機能、疾患や障害の理解、検査法と検査値の解釈、安全かつ効果的な治療手段などの基本的知識を活用することができる。
- ②基本的理学療法を実践するために、治療目標や基本的なプログラムを立案する思考力を身につけ、基本的な評価および治療を安全かつ効果的に実施することができる。

### 3. 学問・臨床研究への探究心および正しい倫理観

- ①卒業後も研究活動を行う探求心を継続して養うことができる。
- ②高い倫理観を持ち、医療・健康に従事する者としての態度を身につける。